

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3 年 4 月 20日

アンケート期間:令和 3年 3月 10日～ 令和 3年 4月 2日

事業所名 放課後等デイサービスオハナピース入 保護者等数(児童数)19人 回収数 13 割合 68 %

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	いいえ	いいえ	わからない			
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13					今後も子ども達に十分なスペースが確保されるよう努めてまいります。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	12	1				安心して預けて頂けるよう、十分な職員の配置、専門性を高める研修等も随時行っています。	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12			1		子どもたちが安全に過ごせるよう、環境整備に努めます。	
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	13				・相談員さんを介して、他事業所とも同じ方向性で計画が立てられている。	ご家族や学校からの連絡や、利用児童の様子の変化などがあれば、担当相談員へ報告し情報を共有しています。	
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	13					・子どもたちが楽しく過ごせるよう、また、ご家族様のご要望も取り入れ、プログラムを作ります。	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	9	3		1	・コロナ禍で難しいと思われる。 ・コロナで難しい為、状況が落ち着いたら交流の機会を作れると良いのではないかと	就労支援施設であるグループ会社の事業所との交流会等検討中です。	
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	1			・丁寧に状況を伝えている。良かった点も教えてくれる。話しやすい。	制度等について分からないことがありましたら、お気軽にご連絡ください。	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	12	1			・コロナの影響で難しいと思いますが、発達や課題について深く話をする機会がもう少しほしかった。	送迎時の申し送りだけでなく、個別面談の機会を増やし、利用児童の状況や課題についてお話し致します。	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	1	1	1	・コロナ禍で難しかったと思うが、面談の機会を増やしてほしい。	・支援計画のための面談だけでなく、保護者との定期面談を実施し、利用児童の情報を共有できる機会を作ります。また、面談等のご希望がございましたら、お気軽にご連絡ください。	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	6	2				今後ご希望がございましたら企画したいと思います。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	2	1		・苦情を聞いたことがない為、分からない。	・重要事項説明書に苦情窓口、第三者委員等記載してあります。どんなことでも構いませんので何か気になる事がございましたらご連絡ください。	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9	4					送迎時や電話連絡等で随時連絡を行います。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	2			・おたよりを楽しみにしている。	その日の特変事項だけでなく、利用児童が頑張った事など、良かった点もお伝えできればと考えております。またHPを開設いたしましたので、是非ご覧になってください。	
14 個人情報に十分注意しているか	11	2			・子供が持ち帰った、裏紙を使用したイラストに利用者の住所や名前が記載されていた為、処分している。	書類の管理方法について、職員間で再度確認し、マニュアルを見なおします。		
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	3				各種マニュアルご用意させていただいております。ご希望がございましたら、いつでも閲覧可能となっております。	
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	3				定期的に避難訓練を行っております。	
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	9	4				お子さまが楽しく通所できるよう、各種プログラムをご用意致します。	
	18 事業所の支援に満足しているか	13				・本人の思いを尊重し、状態に合わせて介入している。職員間で差が出ないよう、情報共有を行い、統一した支援を行えるような環境づくりを心掛けています。	利用児童一人ひとりの様子や支援方法について、職員間で差が出ないよう、情報共有を行い、統一した支援を行えるような環境づくりを心掛けています。	

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に依りて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。